

COVID-19 流行下における医療従事者の曝露に関するリスク評価と管理**2020 年 3 月 19 日版**

原文（英語）:

Risk assessment and management of exposure of health care workers in the context of COVID-19**Interim guidance****19 March 2020**https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/331496/WHO-2019-nCov-HCW_risk_assessment-2020.2-eng.pdf

既存のエビデンスから、COVID-19 の原因ウイルスは、人と人との間での密接な接触や、飛沫を介して伝播することが示唆されている。疾患に罹患するリスクが最も高いのは、COVID-19 の患者と接触する、または患者のケアをする人々である。このため、医療従事者は必然的に感染のリスクが高くなる。医療従事者の保護は WHO の最重要事項である。医療従事者の COVID-19 への曝露がどのように感染のリスクに転ずるかを理解することは、感染予防と制御（IPC）の推奨事項を検討する上で非常に重要である。このデータ収集フォームおよびリスク評価ツールは、IPC の不徹底を見つけ、医療従事者の曝露と院内感染を最小化する方針を定義するために使用することができる。

本ツールは、COVID-19 患者に関わる医療施設を対象としている。COVID-19 確定患者に曝露した全ての医療従事者は、本フォームを記入すべきである。本ツールは、曝露後の医療従事者のリスク評価を助け、その後の管理への推奨事項を提供する。

目的は以下である。

- COVID-19 患者に曝露した後の各医療従事者におけるリスク分類を決定すること
（下記第 1 部：医療従事者の曝露リスク評価フォームを参照）
- 曝露した医療従事者のリスクに基づいた管理に役立つ情報を提供すること
（下記第 2 部；COVID-19 ウイルスに曝露した医療従事者の管理を参照）

これらのフォームを使用する施設は、IPC に関連するガイダンスに関して、WHO との間で匿名化されたデータを共有することが推奨される。WHO と共有されるデータには、個人を特定できる情報（質問 2A、2B、2G）を含めてはならない。

第 1 部：医療従事者に対する COVID-19 ウイルスへの曝露についてのリスク評価フォーム

1. 面接者の情報	
A. 面接者の名前	
B. 面接の日付（年月日）	年 月 日
C. 面接者の電話番号	
D. この医療従事者は、COVID-19 確定患者と同じ家庭、または環境に滞在したことがありますか？	☐ はい ☐ いいえ
E. この医療従事者は、乗り物の種類を問わず、COVID-19 確定患者と密接した距離で（1m 以内）、一緒に渡航した経歴がありますか？	☐ はい ☐ いいえ

質問 1D と 1E に、“はい”と答えたものは、COVID-19 へのコミュニティでの曝露とみなされ、医療従事者はそのように管理されるべきである。第 2 部における管理についての推奨事項は、COVID-19 ウイルスに曝露した医療従事者の管理で、医療機関での曝露においてのみ適応される。

2. 医療従事者の情報	
A. 姓	
B. 名	
C. 年齢	
D. 性別	☐ 男性 ☐ 女性 ☐ 答えたくない
E. 市	
F. 国	
G. 連絡先（電話番号）	

H. 医療従事者の種類	☐ 医師 ☐ 医師のアシスタント ☐ 正看護師、准看護師（またはそれに相当するもの） ☐ 看護助手（またはそれに相当するもの） ☐ 放射線技師 ☐ フレボトミスト（採血を専門とする：日本には公式職なし） ☐ 眼科医 ☐ 理学療法士 ☐ 呼吸療法士 ☐ 栄養士、栄養学者 ☐ 助産師 ☐ 薬剤師 ☐ 調剤技師または調剤師 ☐ 検査室職員 ☐ 入院手続きの事務員、受付 ☐ 患者の輸送係 ☐ 調理スタッフ ☐ 清掃係 ☐ その他（明記する）：
I. 医療施設の種類	該当するもの全てに印をつける ☐ 外来 ☐ 救急 ☐ 入院病床 ☐ 集中治療室 ☐ 清掃サービス ☐ 検査室 ☐ 薬局 ☐ その他（明記する）：

3. COVID-19 患者情報と医療従事者との関係	
A. 医療従事者が COVID-19 確定患者に最初に曝露した日付	日付： 年 月 日 ☐ 不明
B. 患者が治療を受けている医療施設名	
C. 医療施設の種類	☐ 病院 ☐ 外来診療所 ☐ 一次医療センター

D. 市	
E. 国	
F. 医療施設に複数の COVID-19 患者がいる	☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない もし、“はい”の場合、患者の数（正確な人数が分からない場合、おおよそ）：

4. 医療施設で COVID-19 患者に実施された医療従事者の活動	
A. COVID-19 確定患者に直接的なケアを行いましたか？	☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない
B. 医療施設で COVID-19 確定患者と対面の接触（1m 以内）を行いましたか？	☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない
C. エアロゾルが発生するあらゆる処置を患者に実施する場にいましたか？例については以下を参照。	☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない
- もし“はい”の場合、どのような処置でしたか？	☐ 気管挿管 ☐ ネブライザー治療 ☐ 開放式気管吸引 ☐ 喀痰採取 ☐ 気管切開 ☐ 気管支鏡検査法 ☐ 心肺蘇生法 ☐ その他（明記する）：
D. COVID-19 確定患者の治療現場に直接的な接触をしましたか？ 例：ベッド、シーツ、医療機器、浴室など	☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない
E. 上記の期間、他の医療施設での医療（有給または無給）に関与していましたか？	☐ その他の医療施設（公的／私的） ☐ 救急車 ☐ 在宅医療 ☐ 他の医療施設に関与していない

医療従事者が質問 4A～4D のいずれかに“はい”と回答した場合、その医療従事者は COVID-19 に曝露したとみなされるべきである。

5. 医療行為の中での IPC 手順の遵守	
以下の質問については、推奨されている PPE の着用頻度を数値化してください。 “推奨されているときは常に”：95%以上を指します “ほとんど”：50%以上を意味しますが、100%ではありません “場合によって”：20%以上 50%未満を指します “まれに”：20%未満を指します	
A. COVID-19 患者への医療行為の間、個人用防護 (PPE) を着用していましたか？	☐ はい ☐ いいえ
- もし”はい”の場合、以下のそれぞれの物品について、どの程度頻繁に使用したか示してください。	
1. グローブの単回の使用	☐ 推奨されている時は常に ☐ ほとんど ☐ 場合によって ☐ まれに
2. 医療用マスク	☐ 推奨されている時は常に ☐ ほとんど ☐ 場合によって ☐ まれに
3. フェイスシールドまたはゴーグル、安全メガネ	☐ 推奨されている時は常に ☐ ほとんど ☐ 場合によって ☐ まれに
4. 使い捨てグローブ	☐ 推奨されている時は常に ☐ ほとんど ☐ 場合によって ☐ まれに
B. COVID-19 患者への医療行為の間、プロトコールに従って PPE の取り外しおよび交換を行いましたか (例えば医療用マスクが濡れ、濡れた PPE をゴミ箱に入れたときの、手指衛生の実施など)？	☐ 推奨されている時は常に ☐ ほとんど ☐ 場合によって ☐ まれに
C. COVID-19 患者への医療行為の間、COVID-19 患者に触れた前後で手指衛生手技を実施しましたか (グローブを着用していたかどうか)？	☐ 推奨されている時は常に ☐ ほとんど ☐ 場合によって ☐ まれに
D. COVID-19 患者への医療行為の間、清潔または無菌の処置が実施される前後で手指衛生手技を実施しましたか (例えば末梢血管カテーテル、尿道カテーテルの挿入中や挿管中など)？	☐ 推奨されている時は常に ☐ ほとんど ☐ 場合によって ☐ まれに

E. COVID-19 患者への医療行為の間に、体液に曝露した後の手指衛生手技を実施しましたか？	☐ 推奨されている時は常に ☐ ほとんど ☐ 場合によって ☐ まれに
F. COVID-19 患者への医療行為の間に、グローブの着用にかかわらず、患者の周囲（ベッド、ドアノブなど）に触れた後の手指衛生手技を実施しましたか？	☐ 推奨されている時は常に ☐ ほとんど ☐ 場合によって ☐ まれに
G. COVID-19 患者への医療行為の間に、高頻度に触れられる表面を頻回に消毒しましたか（少なくとも日に 3 回）？	☐ 推奨されている時は常に ☐ ほとんど ☐ 場合によって ☐ まれに

6. エアロゾルが発生する処置（例えば気管挿管、ネブライザー治療、開放式気道吸引、喀痰採取、気管支鏡検査、心肺蘇生法（CPR））を実施した際の IPC 対策の遵守

以下の質問については、推奨されている PPE の着用頻度を数値化してください。

“推奨されているときは常に”：95%以上を指します

“ほとんど”：50%を意味しますが 100%ではありません

“場合によって”：20%以上 50%未満を指します

“まれに”：20%未満を指します

A. COVID-19 患者に対してエアロゾルが発生する処置を行っている間、個人用防護具（PPE）を装着していましたか？	☐ はい ☐ いいえ
- もし“はい”の場合、それぞれの器具について、使用頻度を記載してください。	
1. 単回使用のグローブ	☐ 推奨されている時は常に ☐ ほとんど ☐ 場合によって ☐ まれに
2. N95 マスク（もしくは同等の保護マスク）	☐ 推奨されている時は常に ☐ ほとんど ☐ 場合によって ☐ まれに
3. フェイスシールドまたはゴーグル、安全メガネ	☐ 推奨されている時は常に ☐ ほとんど ☐ 場合によって ☐ まれに

4. 使い捨てガウン	☐ 推奨されている時は常に ☐ ほとんど ☐ 場合によって ☐ まれに
5. 防水エプロン	☐ 推奨されている時は常に ☐ ほとんど ☐ 場合によって ☐ まれに
B. COVID-19 患者にエアロゾルが発生する処置を行っている間、プロトコルに従って PPE の除去や交換をしましたか（例えばマスクが濡れ、濡れた PPE をゴミ箱に破棄したときに実践される手指衛生手技など）？	☐ 推奨されている時は常に ☐ ほとんど ☐ 場合によって ☐ まれに
C. COVID-19 患者にエアロゾルが発生する処置を行っている間、グローブの着用を問わず、COVID-19 患者に触れた前後で手指衛生手技を実施しましたか？	☐ 推奨されている時は常に ☐ ほとんど ☐ 場合によって ☐ まれに
D. COVID-19 患者にエアロゾルが発生する処置を行っている間、清潔または無菌の処置が実施される前後で手指衛生手技を実施しましたか？	☐ 推奨されている時は常に ☐ ほとんど ☐ 場合によって ☐ まれに
E. COVID-19 患者にエアロゾルが発生する処置を行っている間、グローブの着用にかかわらず、患者の周囲（ベッド、ドアノブなど）に触れた後の手指衛生手技を実施しましたか？	☐ 推奨されている時は常に ☐ ほとんど ☐ 場合によって ☐ まれに
F. COVID-19 患者にエアロゾルが発生する処置を行っている間、高頻度に触れられる表面を頻回に消毒しましたか（少なくとも日に 3 回）？	☐ 推奨されている時は常に ☐ ほとんど ☐ 場合によって ☐ まれに

7. 生体物質による事故	
A. COVID-19 患者への医療行為の間、体液や呼吸器分泌物の付着を伴う何らかの種類の事故がありましたか？ 以下の例をご覧ください。	☐ はい ☐ いいえ

- もし”はい”の場合、どのような事故でしたか？	☐目の粘膜に体液や呼吸器分泌物が飛散する。 ☐口の粘膜や鼻の粘膜に体液や呼吸器分泌物が飛散する。 ☐非接触皮膚への体液や呼吸器分泌物が飛散する。 ☐体液や呼吸器分泌物で汚染された物質による針や鋭器による針刺し事故。
---------------------------------	---

COVID-19 ウイルスに曝露した医療従事者のリスク分類

1. COVID-19 ウイルス感染に対するリスクが高い

以下の質問に”推奨されている時は常に”と回答していない。

- 5A1～5G、6A～6F
- もしくは 7A に”はい”と回答した

2. COVID-19 ウイルス感染に対するリスクが低い

全てのその他の回答

第 2 部 : COVID-19 に曝露した医療従事者の管理

上記のリスク分類により、COVID-19 に曝露した医療従事者の管理は異なる。

感染リスクが高い医療従事者に対する推奨事項

- COVID-19 確定例に曝露した最後の日から 14 日間、全ての医療従事者と患者の関りを中止する。
- COVID-19 に対する検査を行う。
- 指定された施設で 14 日間隔離される。[1]

医療施設は以下の内容を行うべきである。

- 医療従事者の COVID-19 感染が確定された場合、隔離の期間中または発病期間中を通して、心理学的な支援を医療従事者に提供するべきである。
- 隔離の期間、発病期間中（月給制でない場合）、または隔離・発病期間中の契約の延長の保証を行う。
- 14 日間の隔離期間後、感染リスクの高い医療従事者を含む医療施設スタッフに対して IPC トレーニングの見直しを行う。

COVID-19 の感染リスクが低い医療従事者に対する推奨事項

- COVID-19 患者に曝露した最終日から 14 日間、毎日体温および呼吸器症状をセルフチェックする。医療従事者は、COVID-19 を示唆する症状が出現した場合は、医療施設に連絡するべきである。
- 急性呼吸器症候群を呈する全ての患者に対するケアの際は接触、液滴に対する予防策を強化し、全ての患者に標準予防策を適応する。[2]
- 全ての COVID-19 疑い例と確定例に対する、エアロゾルが発生する処置に対しては空気予防策を強化する。
- 個人用防護具（PPE）の合理的で正しく、一貫した使用を強化する。[3]
- 患者に触れる前、清潔または無菌処置の前、体液への曝露後、患者に触れた後、患者の周囲に触れた後、WHO の”私の手指衛生の 5 つの瞬間”を適応する。[3]
- 常に咳エチケットを実践する。

参考文献

1. Considerations for quarantine of individuals in the context of containment for coronavirus disease (COVID-19): Interim guidance 19 March 2020 [https://www.who.int/publications-detail/considerations-for-quarantine-of-individuals-in-the-context-of-containment-for-coronavirus-disease-\(covid-19\)](https://www.who.int/publications-detail/considerations-for-quarantine-of-individuals-in-the-context-of-containment-for-coronavirus-disease-(covid-19))
2. WHO Infection prevention and control during health care when novel coronavirus (nCoV) infection is suspected: Interim guidance 25 January 2020 ([https://www.who.int/publications-detail/infection-prevention-and-control-during-health-care-when- novel-coronavirus-\(ncov\)-infection-is-suspected-20200125](https://www.who.int/publications-detail/infection-prevention-and-control-during-health-care-when- novel-coronavirus-(ncov)-infection-is-suspected-20200125)).
3. WHO guidelines on hand hygiene in health care: first global patient safety challenge - clean care is safer care. Geneva: World Health Organization; 2009 (<https://apps.who.int/iris/handle/10665/44102>).

WHO は、この暫定ガイダンスに影響を与える可能性があるあらゆる変化に対し、状況の監視を注意深く継続する。

変化が生じた場合、WHO は更新版を発表する。そうでない場合、この暫定ガイダンスは発行日から 2 年をもって失効とする。

© World Health Organization 2020. Some rights reserved. This work is available under the CC BY-NC-SA 3.0 IGO licence.

WHO reference number: WHO/2019-nCov/HCW_risk_assessment/2020.2